

予算等審査特別委員会

予算等審査特別委員会（議長を除く17人の議員で構成、委員長菊池充議員、副委員長多田勲議員）は、条例7件、予算2件、その他1件について付託を受け、審議を行いました。

今委員会では、今後の施策全般にわたり活発な質疑が交わされました。その結果、全10議案が原案のとおり可決・承認されました。

遠野駅舎に係る基本計画調査の実施についてを議員間討議

議案内容の十分な理解を図ることを目的に、「常任委員会調査」を行い、三つの常任委員会（総務・教育民生・産業建設）ごとに、当局から聞き取りを行っています。

委員会調査において明らかになった議案の疑問点等を議会全体で理解するため、議員全員協議会を行います。

今定例会の議員全員協議会では、補正予算案に計上された「遠野駅周辺整備基本計画調査負担金896万円」について、論点整理を

- 外観は、まちのシンボルを目指す。
- 遠野駅舎の未来を考える会のワークショップでのアイデアを基本とし、JR盛岡支社と基本調査に係る協定を締結する。

- JRと市との合築。
- 現駅舎と同規模で新築。

- 市の負担の具体的な提示が必要では。
- 駅舎は「まちの顔」もつと市民とともに議論を。

- 情報の周知が不十分で、拙速な結論ではないか。
- 交わされた質疑、意見を基に、予算等審査特別委員会において、より具体的な質疑が展開されました。（以下の記事参照↓）

- 合性を図る必要あり。
- 整備方針に関する当局の説明内容】

遠野駅周辺の整備をどうするか

問 今年度予算に計上した調査負担金は、JRとの合築により、現在と同規模で新築した場合の経費等を調査するということか。

答 そのとおりである。

問 調査結果によって、駅舎の未来を考えると、駅舎の未来を踏まえ、駅舎の未来を踏まえて、協議していただくが、判断することになるが、多額の費用を要する施設となれば白紙もあるか。

問 調査の主導はJRか。

答 調査は、JR盛岡支社を通じてJR東北工事事務所が進める。調査経過に係る情報は、可能な限り共有し



ていたけるようにし、駅舎の未来を考える会や議会にもお示ししていきたい。

問 JRにはこれまで、整備方針等本市との十分な話し合いのもと決定いただくよう、趣意書や申入書が提出されているが、当局として、まちづくりの考えを明確にすべきでは。

答 この調査がスタートになる。どのような駅にし、どのような中心市街地のまちづくりをしていくのか、市民、議会と議論しながら進めていきたい。

問 産直ネットワーク集配システム構築業務委託の内容は。

答 配送システム構築のためのコンサルティングをお願いする。現在、風の丘に集まった遠野産品を1日1回、結いの市に配送しているが、今年度から2カ年度を事実実験と位置づけ、市内の他の産直と協議し、1日2回配達できないか考えている。また、産直の魅力アップのためのさまざまな技法についてスキルを学ぶための委託料である。

問 結いの市の販売手数料は売上げの30%だが、他の産直の手数料等はどうか。

答 産直手数料は概ね10%と捉えている。

問 これだけの手数料



盛岡南イオン内の結いの市

後の状況は。

答 平成18年度の出店当時は、ふるさと公社含めて6店舗で、平成18年度に1店舗、平成20年度3店舗が離脱し、現在は2店舗である。採算面で撤退という事情もあったと思うが、遠野市は一貫してアンテナショップと位置づけてきた。

問 ふるさと公社は地域商社的作用を担っており、他の販売先の可能性についても検討しているか。

答 ふるさと公社は地域の商社的作用を担っており、他の販売先の可能性についても検討している。

問 遠野風の丘創業20周年を核として市内への誘客を図り、観光産業の振興を目的に取り組みは。

答 創業20周年は、市内の郷土芸能団体をはじめ多くの市民が参加できる内容にするべきでは。

問 市民の参加は重要だと認識している。10月以降の計画には、郷土芸能を披露する機会を設けたい。

問 道路混雑と安全への対策を。

答 職員を配置し、無事故への注意を喚起する。

問 中心市街地に臨時駐車場を確保する考えは。

答 風の丘の既存の駐車場の他、西側の職員駐車場、東側の草地、旧綾織小学校の校庭を臨時駐車場として使用する。中心市街地への誘導については、今後の混雑の状況をみて対



大盛況の風の丘感謝祭

応を図っていく。

問 各産直のイベントへの支援は。

答 道の駅のような公的な施設への支援のあり方と、自主的に取り組んでいる産直へのあり方を考えながら、各産直もできる限り応援したい。

問 市全体の観光推進に取り組むべきでは。

答 遠野市観光推進協議会として情報共有、構成団体ごとの主要な事業・計画に沿って協力し合い取り組んでいる。関係団体でチームを組み、年間のプロモーション活動の動きを把握しながら、役割を持って進めている。マーケット調査に基づき、アクションプラン

問 新築の必要性はあるか。

答 ブラインドサッカーブラジル選手団の事前合宿誘致を進めるにあたり、要件を満たす場内の既存クラブハウ

問 産直ネットワーク集配システム構築業務委託の内容は。

答 配送システム構築のためのコンサルティングをお願いする。現在、風の丘に集まった遠野産品を1日1回、結いの市に配送しているが、今年度から2カ年度を事実実験と位置づけ、市内の他の産直と協議し、1日2回配達できないか考えている。また、産直の魅力アップのためのさまざまな技法についてスキルを学ぶための委託料である。

問 結いの市の販売手数料は売上げの30%だが、他の産直の手数料等はどうか。

答 産直手数料は概ね10%と捉えている。

問 これだけの手数料

スでは、国際競技連盟の基準を満たしていない。

問 得られる将来的な効果は。

答 サッカー大会・合宿の誘致の大きなPRポイントとなる。サッカー場の有効活用としての一面ではなく、交流人口の増加に向けた考えをもって効果を広げていきたい。

問 共生社会の実現にどう取り組むのか。

答 障がい者・老人福祉は健康福祉部、中心市街地・駅舎等のユニバーサルデザイン対応は環境整備部、心のバリアフリーであれば教育委員会、あるいは子育て応援部の取り組みとなる。

問 全庁的な推進をもつて、思いやりと心づかいの見えるまちづくりを目指す。

を支払うことは、生産者のためになるのか。

答 組合員への説明はまだ不十分であるが、高速道開通で各産直の売上減少が考えられることから、集配システムを強化することで生産品目の拡大と売り上げ向上につなげたい。販売手数料30%で、結いの市に係る経費の全てをふるさと公社が担っている。

オール遠野で観光まちづくりの推進を

負担金の目的は。

答 道路ネットワークの変化、宮古・室蘭間のフェリー就航と重要な時期であり、道の駅

問 結いの市開業時に

問 道の駅ネットワーク

問 道の駅ネットワーク

問 道の駅ネットワーク

問 道の駅ネットワーク

問 道の駅ネットワーク

問 道の駅ネットワーク

問 道の駅ネットワーク

問 道の駅ネットワーク

問 道の駅ネットワーク

問 道の駅ネットワーク

問 道の駅ネットワーク

問 道の駅ネットワーク